

図書館だより

2023年夏号
No.013

司書の北川です！

今日は「ココロの学校」で講演された又吉直樹さんの本「夜を乗り越える」(1階又吉さん展示のところにあります)について紹介します。

この本は「語り下ろし」というスタイルの新書。文学とのお出合いや小説の創作秘話、そして「本を読む理由」について、真っ向勝負で語り尽くしています。自らを「愚直なまでに屈折している」と称する又吉さんらしい語り口に引き込まれます。

タイトルの「夜を乗り越える」は太宰治の章に登場し、「死にたくなるほど苦しい夜」が、一冊の小説によって救われることもある、と。それは、又吉さんのように、人生に「本」が染み込んでいる人だからこそ出てくる言葉でしょう。本に限らず、自分自身を超えるほど「好き」という何かがあれば、それが選んで自分を救ってくれたということがある、そういうメッセージのようにも読めました。何かに没頭したり、夢中になっている人は、その人の人生を生きていると言えます。まだ、見つからない・・・そういう方は、今から何気なく手に取る一冊が、運命を変える出会いになるかもしれません。



今月も図書館に新しい本が入ってきました！
その一部をご紹介します
場所は1階の図書館カウンター前です●

7月の 新着図書



そのほかにもたくさん！
早速チェックに行こう！

又吉さん展示

「ココロの学校」に又吉さんが来てくださったことを記念して、又吉さんのこれまでの著書をおつめました！
『火花』『劇場』などの小説はもちろん、『第2図書館係佐』『東京百景』などエッセイも面白くておすすめです。豪華な共著も多数あります！
又吉さんの想像と創造の力に、ぜひ触れてみてください●



月と散文
又吉 直樹 / 著



いろんなものが失くなってしまった日常だけれど、窓の外
の夜空には月は出ていて、書
きかけの散文だけは確かにあ
った。センチメンタルが生ま
れ出す爆発力、ナイーブがもた
らす激情。又吉直樹さん10
年ぶりのエッセイ集。

その本は
又吉 直樹、ヨシタケシンスケ / 著



本の好きな王様が、2人の男
を城に呼び、王様中をまわ
って「めずらしい本」の話を
聞いてきてくれ」と言った。
旅に出た2人の男は、たくさ
んの本の話を持ち帰り、王様
のために夜ごと語り出した。
1。笑って泣いて胸を打たれ
る、本にまつわる物語。



夏の / おすすめ本



暑い日には涼しい部屋で冷たい飲み物を
飲みながら、夏らしい本を読んで
夏を全身に感じてみてはいかがでしょう？
思わずヒヤッしてしまうようなミステリーから、
まるで自分が主人公になって、ひと夏の冒険を
したような感覚を味わえる物語まで、
夏におすすめの小説をおつめました！
司書それぞれが選んだ本もご紹介！
さあ、新しいページを開きましょう！



お中元
中身のわからない包みを選んで、
普段読まない本を借りてみよう！
裏面に中身のヒントが
書かれているよ●
「自由な旅をしたい」
「好きってなんだろう」
「グルメ」「猫」「電車」などなど
色々なテーマの本たちをご用意して、
みなさんをお待ちしております！

図書館からの



◆ OPAC ◆
ID:O1JS
pass:library



夏休み特別貸出
7月10日(月)～8月9日(水)に本を借りると・・・
いっぱい借りられる！ ➡ 貸出冊数が5冊→10冊に！！
なが～く借りられる！ ➡ 返却日は8月26日(土)まで！！

この機会にたくさん本を読んでみよう！！

